

令和4年度「まちかどコメンテーター」 アンケート調査結果 ＜抜粋版＞

鹿児島市

・第3回

- 1 グリーン・ツーリズムについて（世界遺産・ジオ・ツーリズム推進課）
- 2 「個人住宅雨水貯留施設等設置助成事業」の効果的な周知・広報について（河川港湾課）

目 次

I	調査の概要	1
II	グリーン・ツーリズムについて	4
III	「個人住宅雨水貯留施設等設置助成事業」の効果的な周知・広報 について	21

I 調査の概要

1. まちかどコメンテーターの概要

(1) まちかどコメンテーターとは

市民の皆様「まちかどコメンテーター」になってもらい、市民目線の意見・提言を聴取するとともに、市民のニーズを把握し、市政運営の参考とさせていただくものです。

また、アンケートを通じて、市民の皆様の市政への関心・興味を深めていただくことも目的としています。

(2) まちかどコメンテーターの選定方法

市内に住むか通勤・通学する 18 歳以上の方を対象とし、一般公募及び住民基本台帳から無作為抽出した市民 2,200 人への就任依頼において、応募・承諾いただいた方により構成しています。

(3) 任期

令和 4 年 6 月 1 日～令和 5 年 5 月 31 日

(4) 人数

340 人（第 3 回調査実施時点）

(5) 所管課

市民局 市民文化部 市民協働課

2. 第3回調査の概要

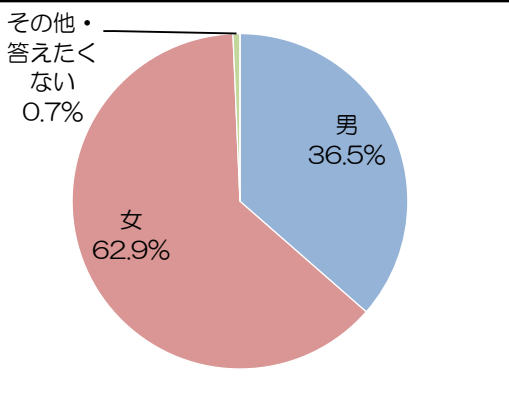
(1) 調査概要

テーマ/担当課	グリーン・ツーリズムについて	世界遺産・ジオ・ツーリズム推進課
	「個人住宅雨水貯留施設等設置助成事業」の効果的な周知・広報について	河川港湾課
調査期間	令和4年9月12日～9月30日	
回答率	87.9% (299人)	

(2) 回答者属性

① 性別

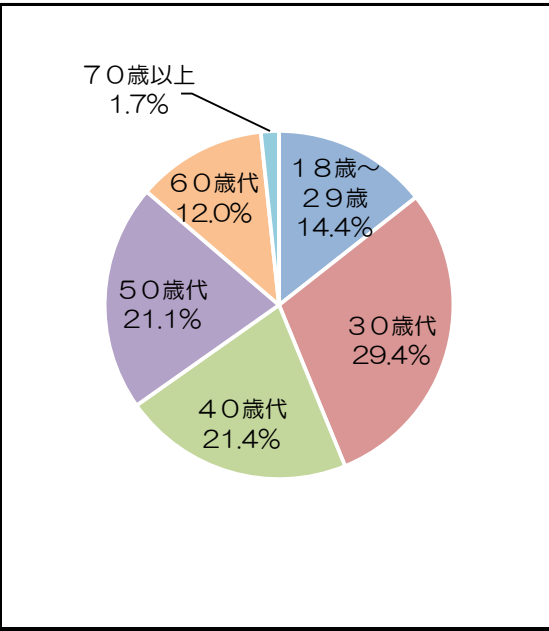
選択肢	回答数	割合
男	109	36.5%
女	188	62.9%
その他・答えたくない	2	0.7%
無回答	0	0.0%
サンプル数	299	100.0%



Other chart data: 男 36.5%, 女 62.9%, その他・答えたくない 0.7%

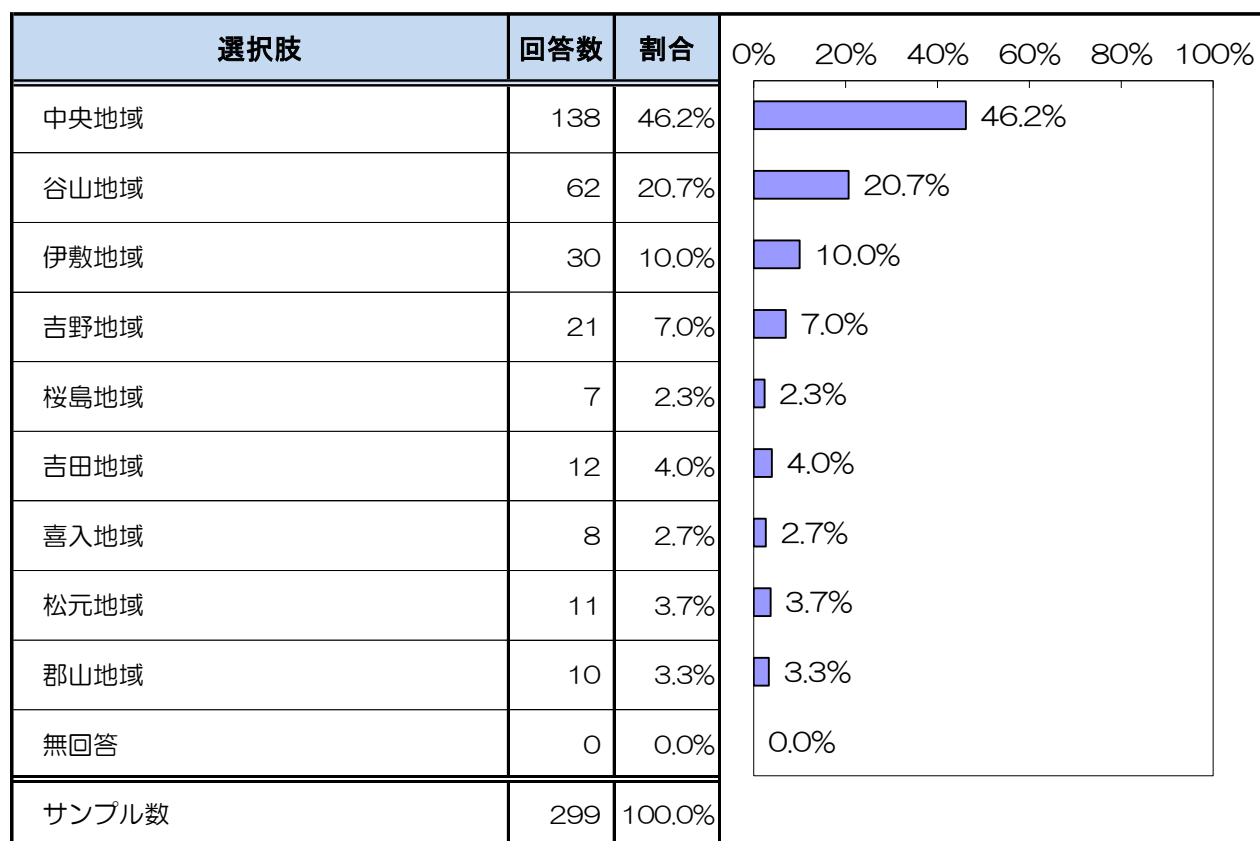
② 年代

選択肢	回答数	割合
18歳～29歳	43	14.4%
30歳代	88	29.4%
40歳代	64	21.4%
50歳代	63	21.1%
60歳代	36	12.0%
70歳以上	5	1.7%
無回答	0	0.0%
サンプル数	299	100.0%



Other chart data: 18歳～29歳 14.4%, 30歳代 29.4%, 40歳代 21.4%, 50歳代 21.1%, 60歳代 12.0%, 70歳以上 1.7%

③ 居住地



3. 報告書上の留意点

- ・ 構成比は小数点第2位以下を四捨五入して表示しているため、合計が合わない場合があります。
- ・ 複数回答可の質問の構成比の合計は100%を超えることがあります。
- ・ 設問文や選択肢等の表記において、原文より変更している場合があります。

Ⅱ グリーン・ツーリズムについて

1. 調査の目的

本市では、農作業や収穫体験、農家での宿泊など、農村地域の自然、文化、人々との交流を楽しむグリーン・ツーリズムの推進に向けて「第3期鹿児島市グリーン・ツーリズム推進計画」（計画期間：令和4年度から令和8年度まで）に基づき、さまざまな取組を進めています。

今回は、市民の皆様のニーズを把握し、計画を推進するための各種事業の実施の参考とするため、アンケートを実施しますので、ご協力をお願いいたします。

2. 調査結果を受けて担当課（世界遺産・ジオ・ツーリズム推進課）からのコメント

グリーン・ツーリズムについて、市民の皆様のニーズや考え方などを伺うためにアンケートを実施したところ、多くのご回答やご意見をいただきまして、誠にありがとうございます。

グリーン・ツーリズムについて、「言葉も内容も知らなかった」の回答が43.1%、グリーン・ツーリズム体験等の参加について、「参加したことがない」の回答が58.2%、「体験等があることを知らなかった」の回答が56.3%となっており、認知度の向上や情報発信、体験等の充実が今後の課題であることが分かりました。

また、市民の皆様がグリーン・ツーリズムの体験等に参加する場合、興味や重視する点等についても傾向を把握することができ、今後の取組を進める上で大変参考となりました。

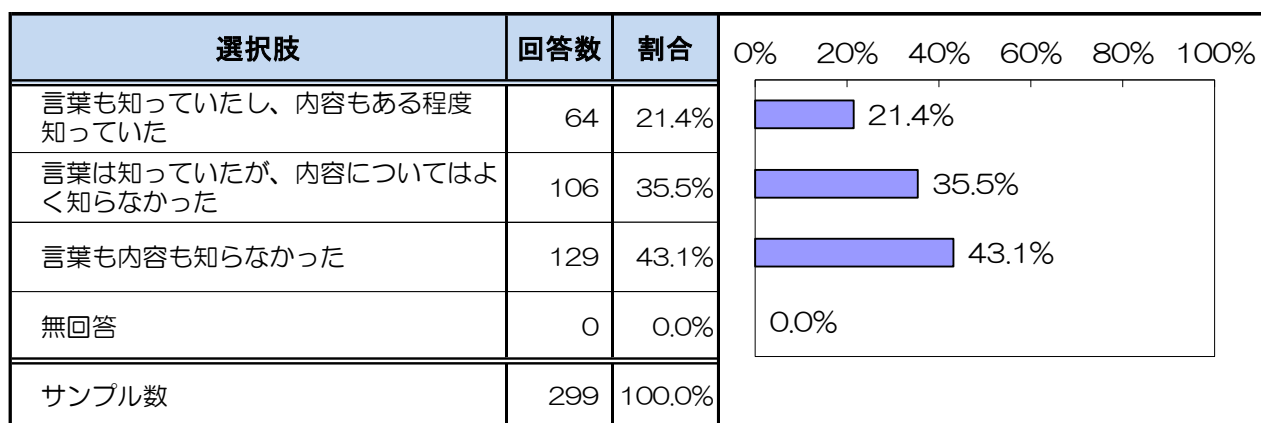
グリーンファームや都市農村交流センターお茶の里等のグリーン・ツーリズム施設についても、さまざまな感想等をいただき、利用促進を図る上で貴重な意見を得ることができました。

今回の調査結果を参考に、農村地域で活動する団体等とも連携しながら効果的な情報発信に努めるとともに、魅力ある体験の創出やイベントの開催に取り組み、より多くの皆様に農村地域の自然、文化、人々との交流を楽しんでいただけるよう、グリーン・ツーリズムを推進してまいります。

3. 調査結果

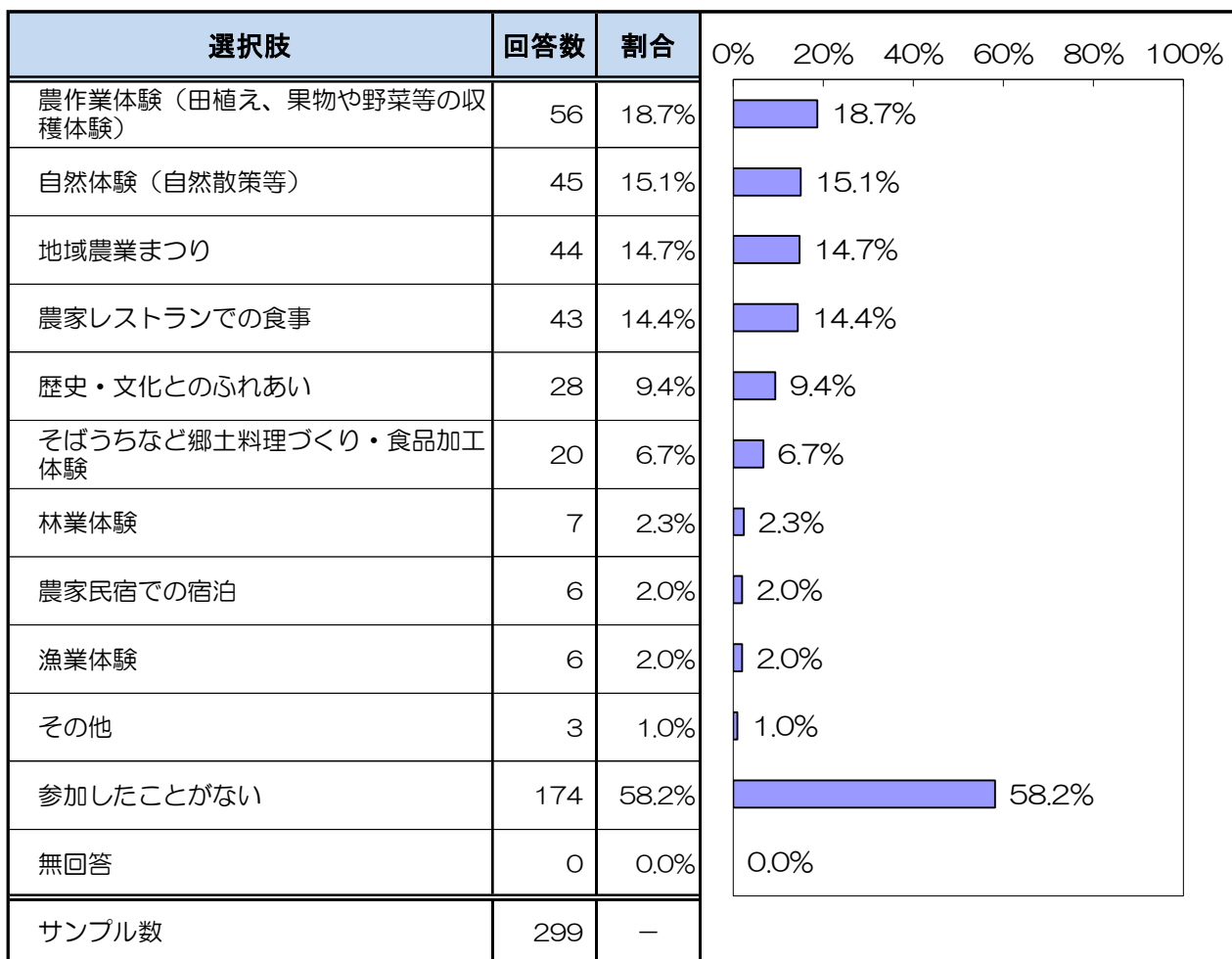
問1 グリーン・ツーリズムという言葉や内容について知っていましたか。 (単数回答)

「言葉も知っていたし、内容もある程度知っていた」が21.4%、「言葉は知っていたが、内容についてはよく知らなかった」が35.5%、「言葉も内容も知らなかった」が43.1%となっています。



問2 グリーン・ツーリズムの体験等に、成人して以降参加したことがありますか。(複数回答)

「参加したことがない」が58.2%と最も高く、次いで、「農作業体験（田植え、果物や野菜等の収穫体験）」の18.7%、「自然体験（自然散策等）」の15.1%の順となっています。

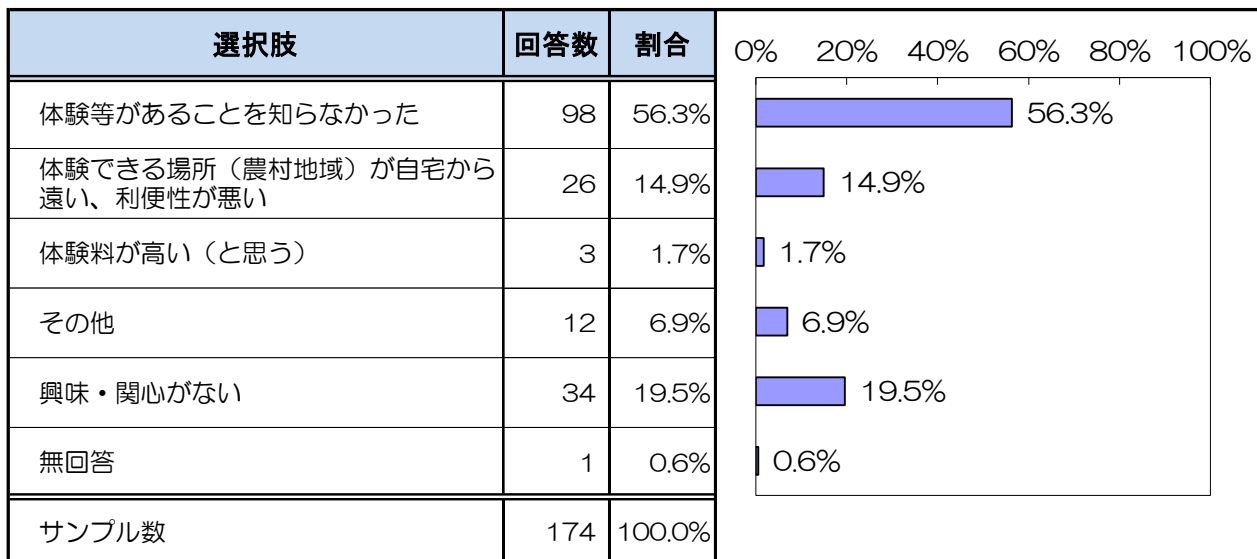


◆その他の回答（一部抜粋・原文まま）

- ・草木染めでエコバッグ作り
- ・農産物直売所利用

問3 問2で「11. 参加したことがない」と回答された方にお伺いします。
参加したことが無い理由を教えてください。(単数回答)

「体験等があることを知らなかった」が56.3%と最も高く、次いで、「興味・関心がない」の19.5%、「体験できる場所（農村地域）が自宅から遠い、利便性が悪い」の14.9%の順となっています。

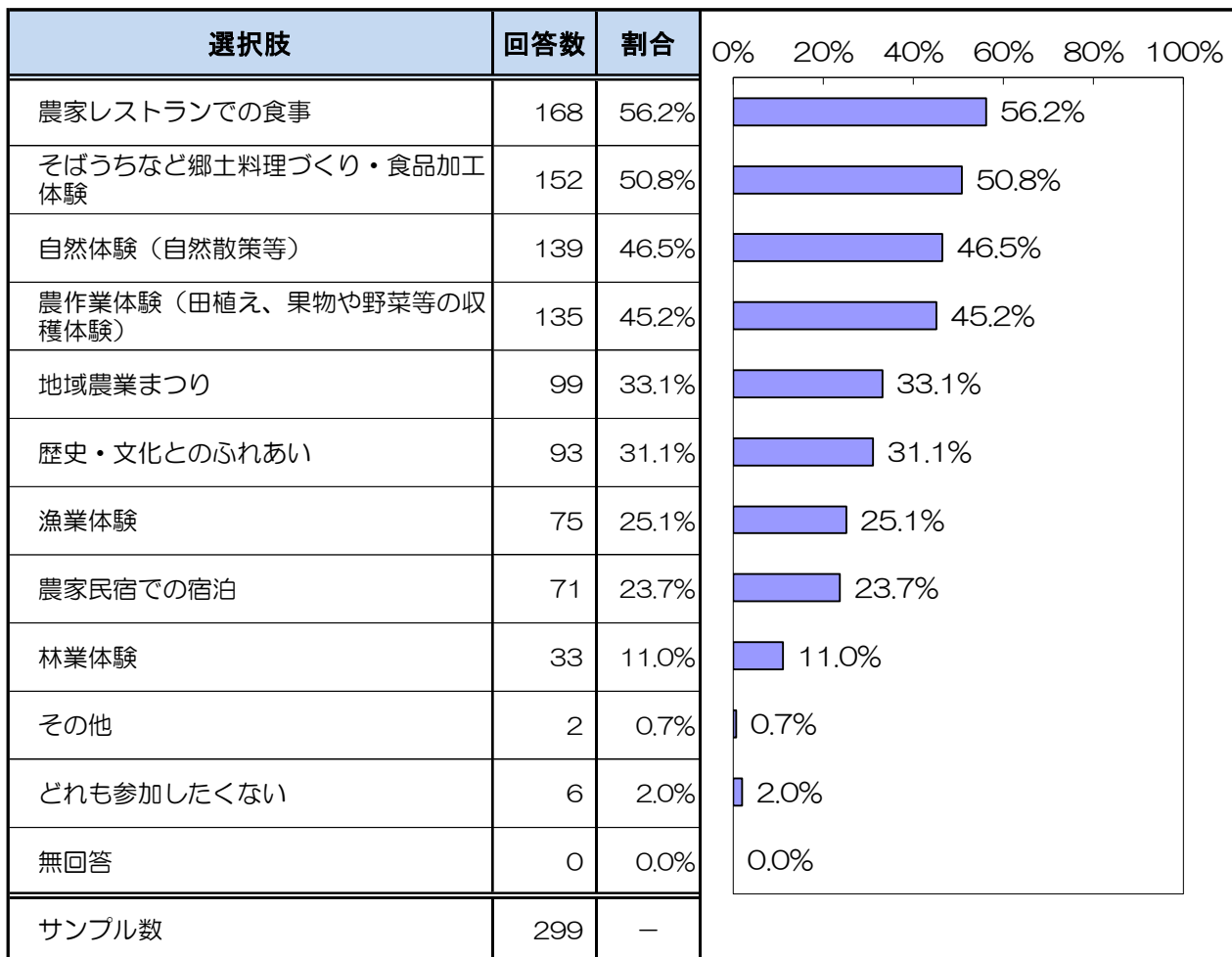


◆その他の回答（一部抜粋・原文まま）

- ・子どもが小さく、仕事もあるのでなかなかタイミングがない。
- ・農家で育ったので、幼少期に体験したことがあるものが多かったから。また、想像ができるものが多かったから。また、グループ（家族）参加が多いと思い、一人での参加を見送ってしまう。

問4 今後、あなたがグリーン・ツーリズムの体験等に参加するとして、どのような体験等に参加したいですか。(複数回答)

「農家レストランでの食事」が56.2%と最も高く、次いで、「そばうちなど郷土料理づくり・食品加工体験」の50.8%、「自然体験（自然散策等）」の46.5%の順となっています。

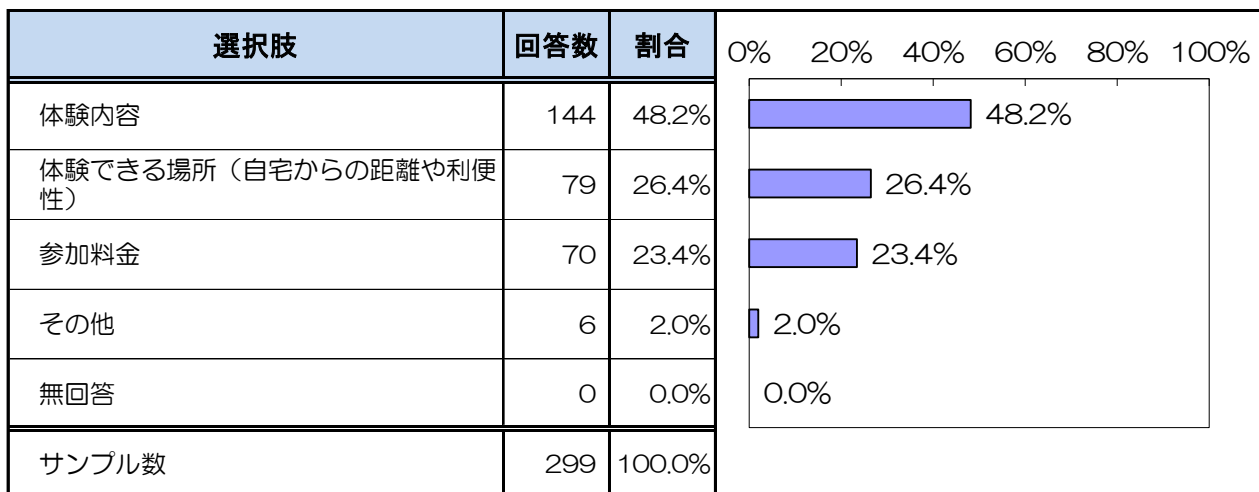


◆その他の回答（一部抜粋・原文まま）

- ・貸し農園

問5 グリーン・ツーリズムの体験等に参加する場合、最も重視するものは何ですか。(単数回答)

「体験内容」が 48.2%と最も高く、次いで、「体験できる場所（自宅からの距離や利便性）」の 26.4%、「参加料金」の 23.4%の順となっています。

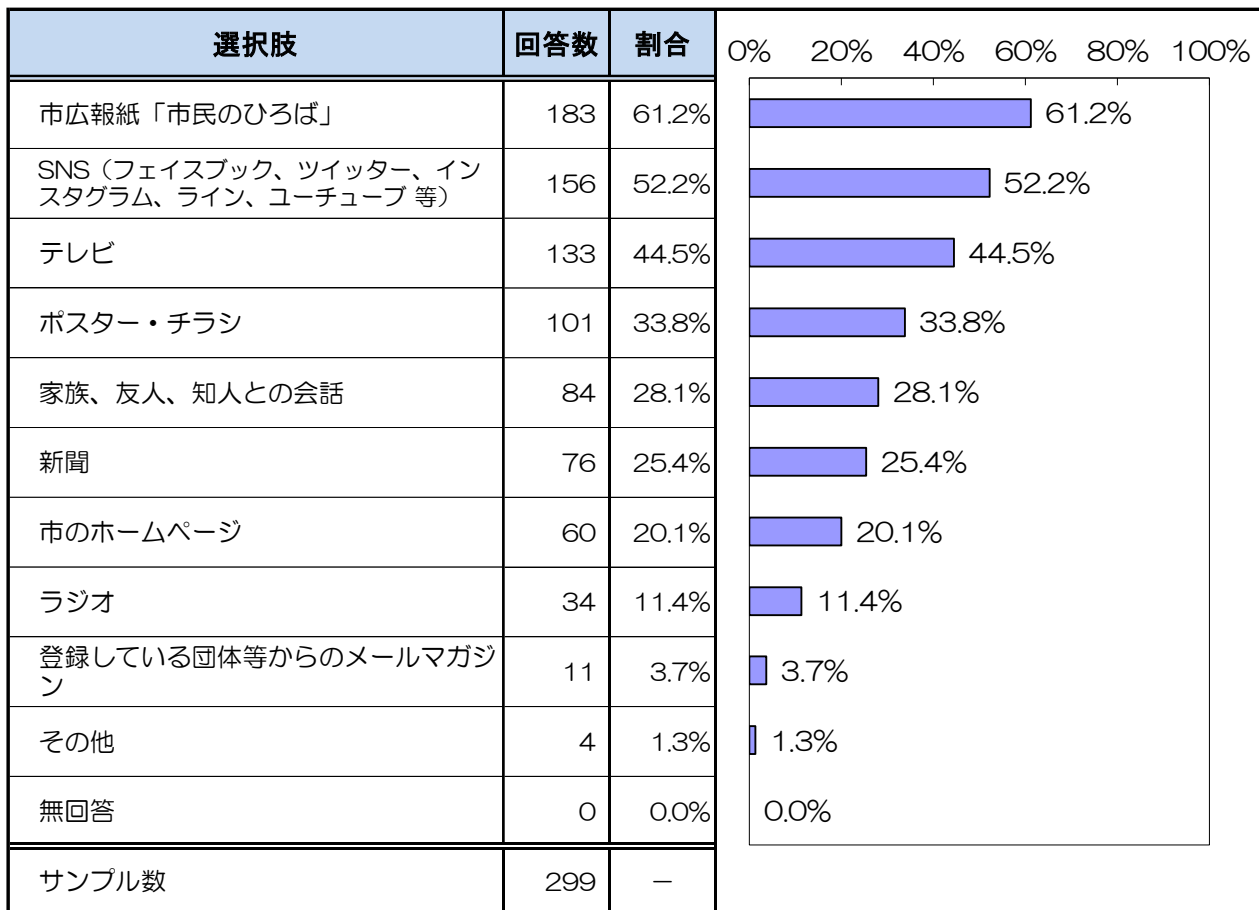


◆その他の回答（一部抜粋・原文まま）

- ・安全性
- ・子どもと一緒に楽しめる体験。

問6 あなたが体験等に参加する場合、どのような方法で情報を得たいと思いますか。(複数回答)

「市広報紙「市民のひろば」」が 61.2%と最も高く、次いで、「SNS（フェイスブック、ツイッター、インスタグラム、ライン、ユーチューブ等）」の 52.2%、「テレビ」の 44.5%の順となっています。

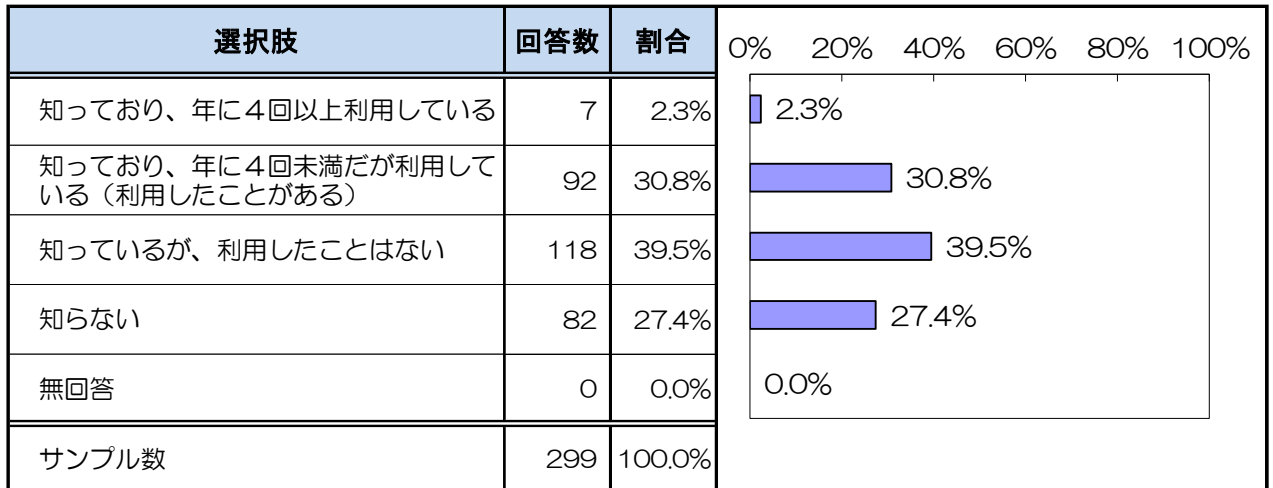


◆その他の回答（一部抜粋・原文まま）

- ・インターネット

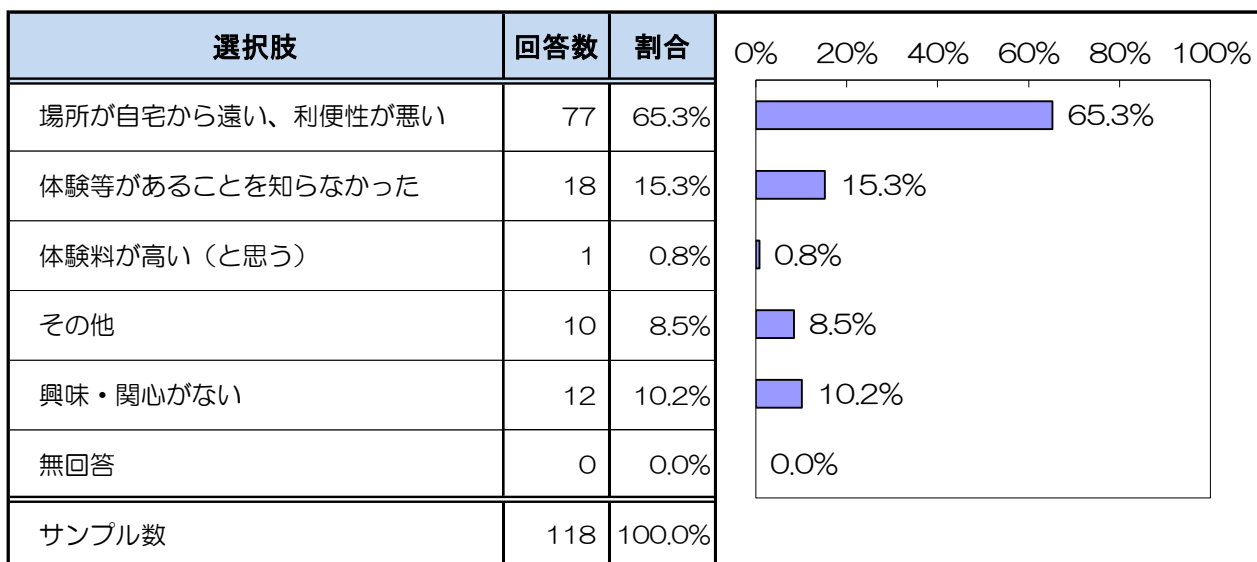
問7 喜入一倉町にある「グリーンファーム（鹿児島市観光農業公園）」（以下「グリーンファーム」といいます）を知っていますか。（単数回答）

「知っているが、利用したことはない」が39.5%と最も高く、次いで、「知っており、年に4回未満だが利用している（利用したことがある）」の30.8%、「知らない」の27.4%の順となっています。



問8 問7で「3. 知っているが、利用したことはない」と回答された方にお伺いします。利用したことがない理由を教えてください。(単数回答)

「場所が自宅から遠い、利便性が悪い」が65.3%と最も高く、次いで、「体験等があることを知らなかった」の15.3%、「興味・関心がない」の10.2%の順となっています。

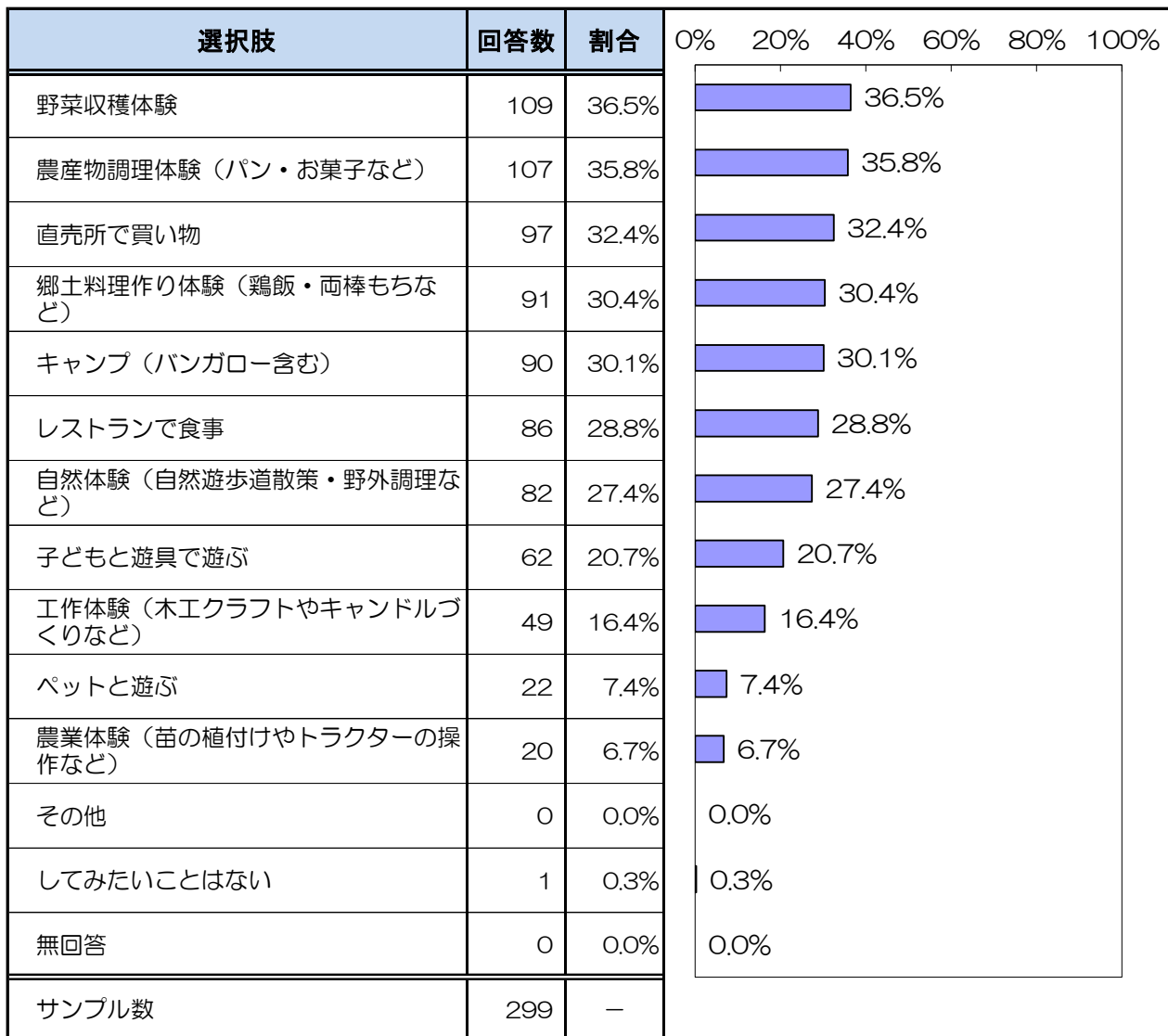


◆その他の回答（一部抜粋・原文まま）

- ・子どもがいないと敷居が高く感じる。
- ・体験出来る日程が合わない。
- ・土日などは人が多いイメージで避けていた。

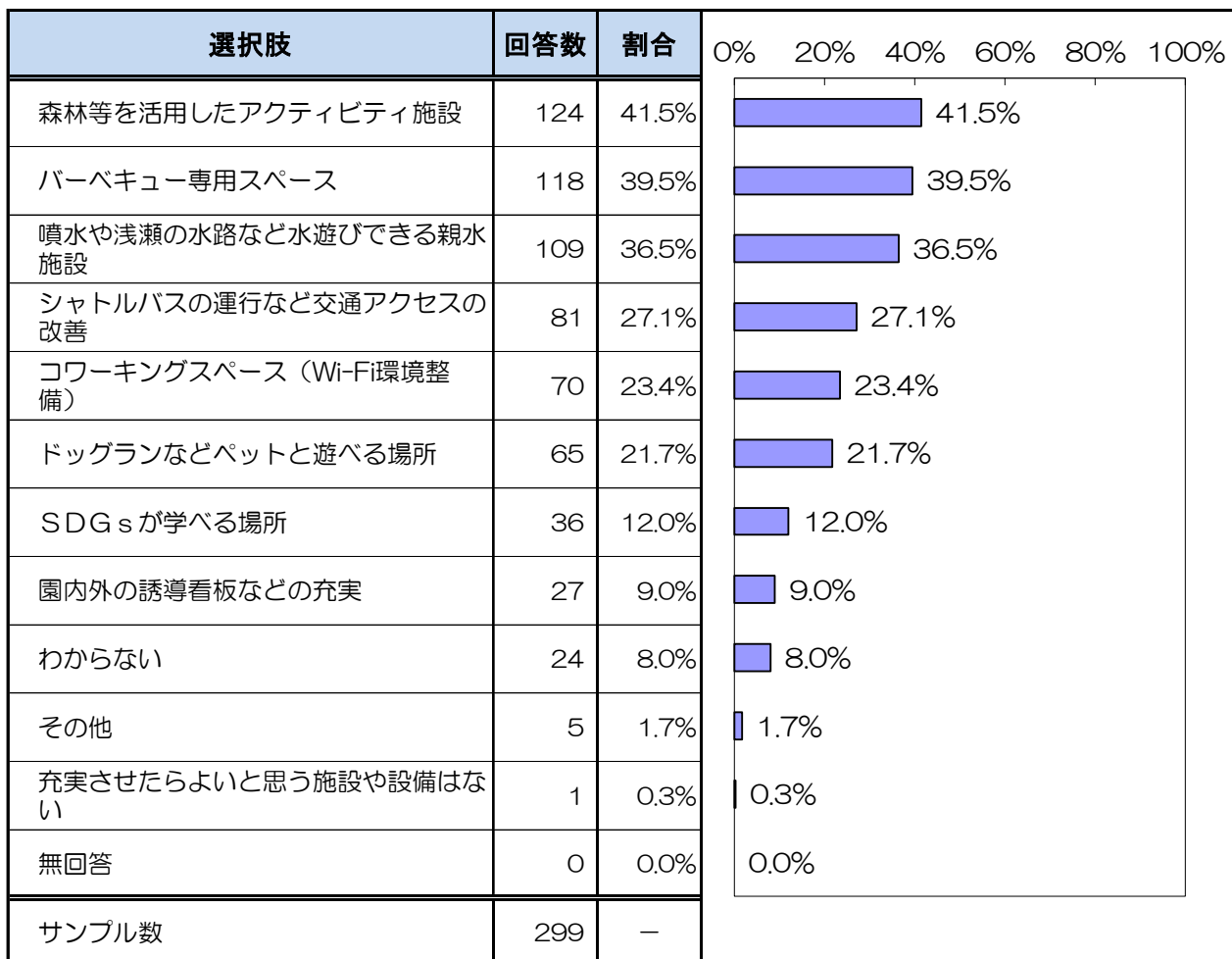
問9 グリーンファームには次のような体験等ができますが、グリーンファームでしてみたいことはありますか。(3つまで)

「野菜収穫体験」が 36.5%と最も高く、次いで、「農産物調理体験（パン・お菓子など）」の 35.8%、「直売所で買い物」の 32.4%の順となっています。



問 10 今後、グリーンファーム（キャンプ場を除く）で充実させたらよいと思う施設や設備は何ですか。（3つまで）

「森林等を活用したアクティビティ施設」が41.5%と最も高く、次いで、「バーベキュー専用スペース」の39.5%、「噴水や浅瀬の水路など水遊びできる親水施設」の36.5%の順となっています。

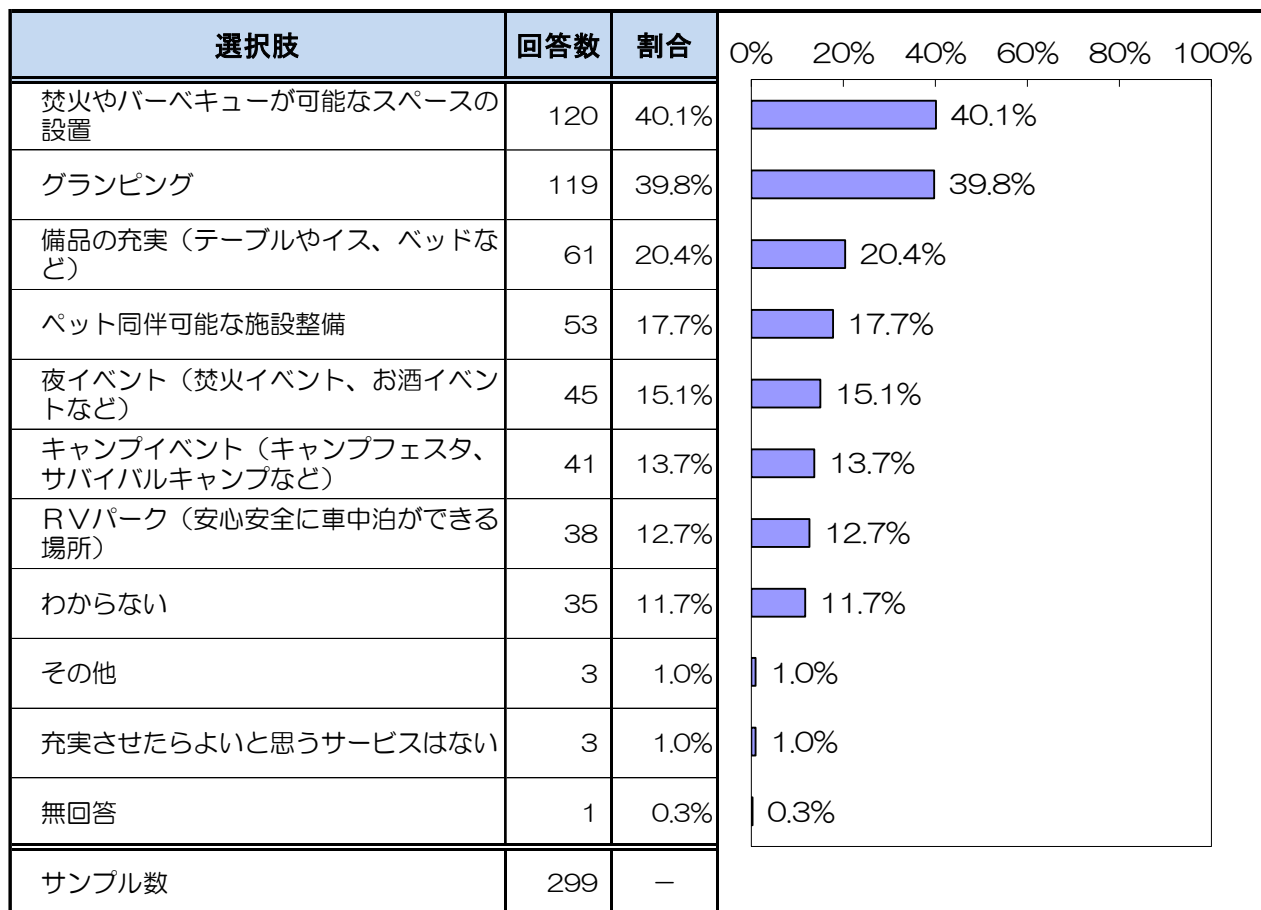


◆その他の回答（一部抜粋・原文まま）

- ・ひとりでも参加しやすいシステム
- ・木陰でお弁当など食べれる場所と椅子とテーブル。
- ・直売所をもう少し充実させた方がよいと思う。

問 11 グリーンファームのキャンプ場で今後充実させたらよいと思うサービスは何ですか。(2つまで)

「焚火やバーベキューが可能なスペースの設置」が40.1%と最も高く、次いで、「グランピング」の39.8%、「備品の充実（テーブルやイス、ベッドなど）」の20.4%の順となっています。

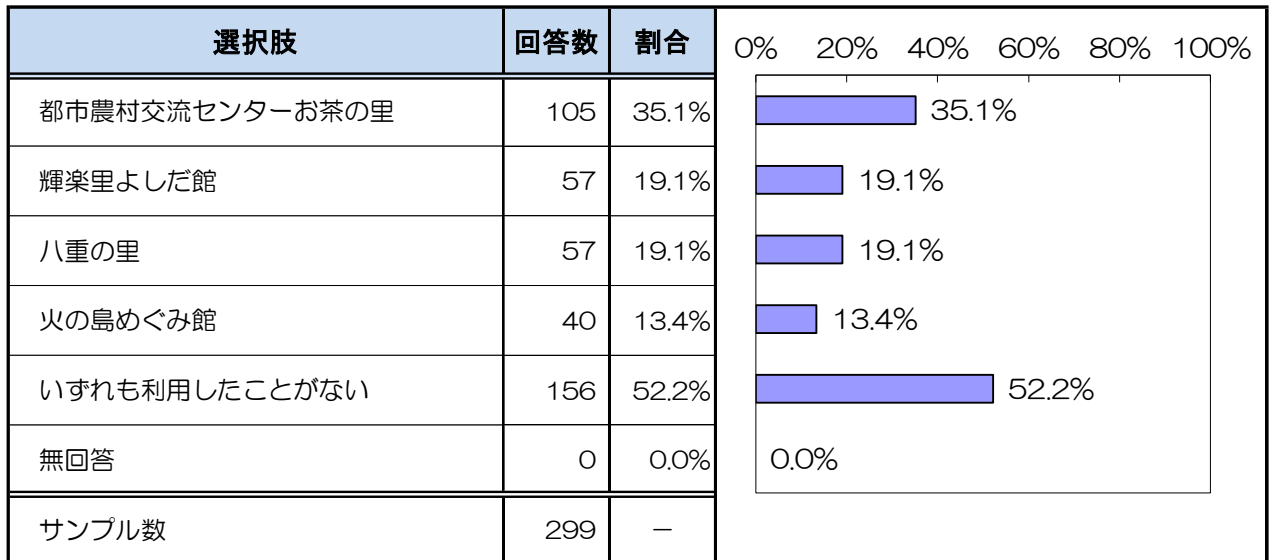


◆その他の回答（一部抜粋・原文まま）

- ・キャンプをしてみたいけど、したことがない初心者層に向けたイベントやサービス。
- ・大人向けのアクティビティと自然体験農業体験など。

問 12 あなたはグリーンファーム以外のグリーン・ツーリズム施設の中で利用したことがある施設はどこですか。(複数回答)

「いずれも利用したことがない」が52.2%と最も高く、次いで、「都市農村交流センターお茶の里」の35.1%、「輝楽里よしだ館」「八重の里」の19.1%の順となっています。



問 13 問12で「1～4」と回答された方にお伺いします。直近で利用した施設について、利用した感想があればその施設名と感想をお書きください。

◆回答一覧（一部抜粋・原文まま）

① 都市農村交流センターお茶の里

感想	性別	年代	地域
外に遊具があり、手入れの状態もよく子連れで利用しやすいと感じました。また、お茶等地元産品の購入もでき、お茶に関するイベントもあって楽しめると思います。ただ、イベント等は情報がなかなか入ってこないの、周知の方法を再考してもよいかもしれないと思います。	男	30歳代	中央
自宅からわりと近いということもあり月に2、3回利用しています。新鮮な野菜やお花など安価で購入でき物価高に悩まされている主婦には有難い施設です。また隣接する公園では、孫を連れて遊んだりします。いつもきれいに整備されていて安心して遊ばせることができます。	女	50歳代	中央
買い物に寄らせていただきました。物産館的な観点で考えると、日置市の蓬莱館やチェスト館の方が魅力的に感じます。もっともお茶を強くアピールしてもいいかと思います。	男	50歳代	中央

② 火の島めぐみ館

感想	性別	年代	地域
コロナの時期だったからか、お客さんも少なく、スタッフの元気もないように感じました。お客さんが少ないとモチベーションが下がるのはわかりますが、ひとりでもお客さんがいる以上、きちんとした接客をするべきだと感じました。	男	50歳代	伊敷
直近では昨日利用しました。桜島産のブドウや乾燥ひじき等を購入しました。アプリの「わくわく」を利用したため、お得に買い物ことができました。また、店外では顔はめパネルを試したり、桜島大根の成長の様子を見たりとその土地ならではの工夫のおかげで、桜島を楽しむことができました。	女	30歳代	中央

③ 輝楽里よしだ館

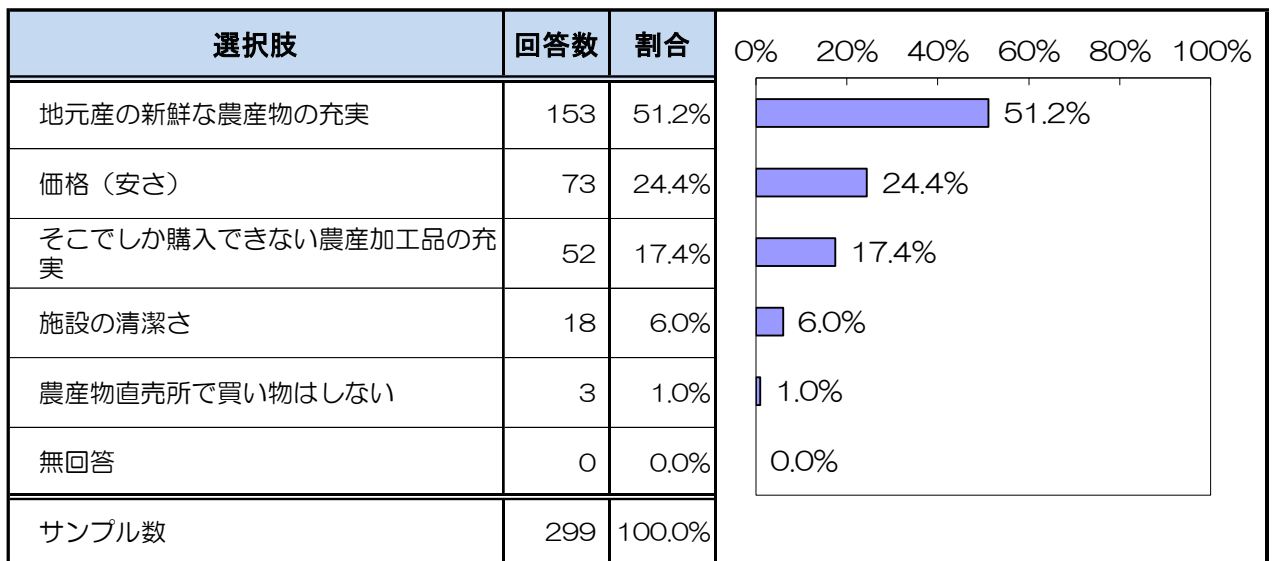
感想	性別	年代	地域
以前と比較して、商品(野菜)が減っているように感じます。前はもっとお野菜があった。	女	50歳代	吉田
地元の野菜を購入した。旬のものは栄養価が高くおいしい。その上、安いので通るときは必ず寄って買い物をしている。また、苗ものも売ってあり持ってこられた方に育て方を聞いたところ、分かりやすく教えていただきました。地元根付いた良い施設だと思う。	女	50歳代	中央

④ 八重の里

感想	性別	年代	地域
リニューアルされてすぐに行きました。鹿児島県内の商品が置いてありましたが、地元産の新鮮な野菜加工などをもっと置いて欲しいです。店内は寂しい感じでした。レストランは目につきにくいのもっと看板などアピールしては。お米が美味しそうなので利用したいです。有名になる名物料理ができると良いですね。オープン後すぐの感想でいろいろ書きました。すみません。	女	60歳代	中央
動物との触れ合いができてよかった！但し、八重の里の駐車場入口が少し戸惑う。	男	40歳代	中央

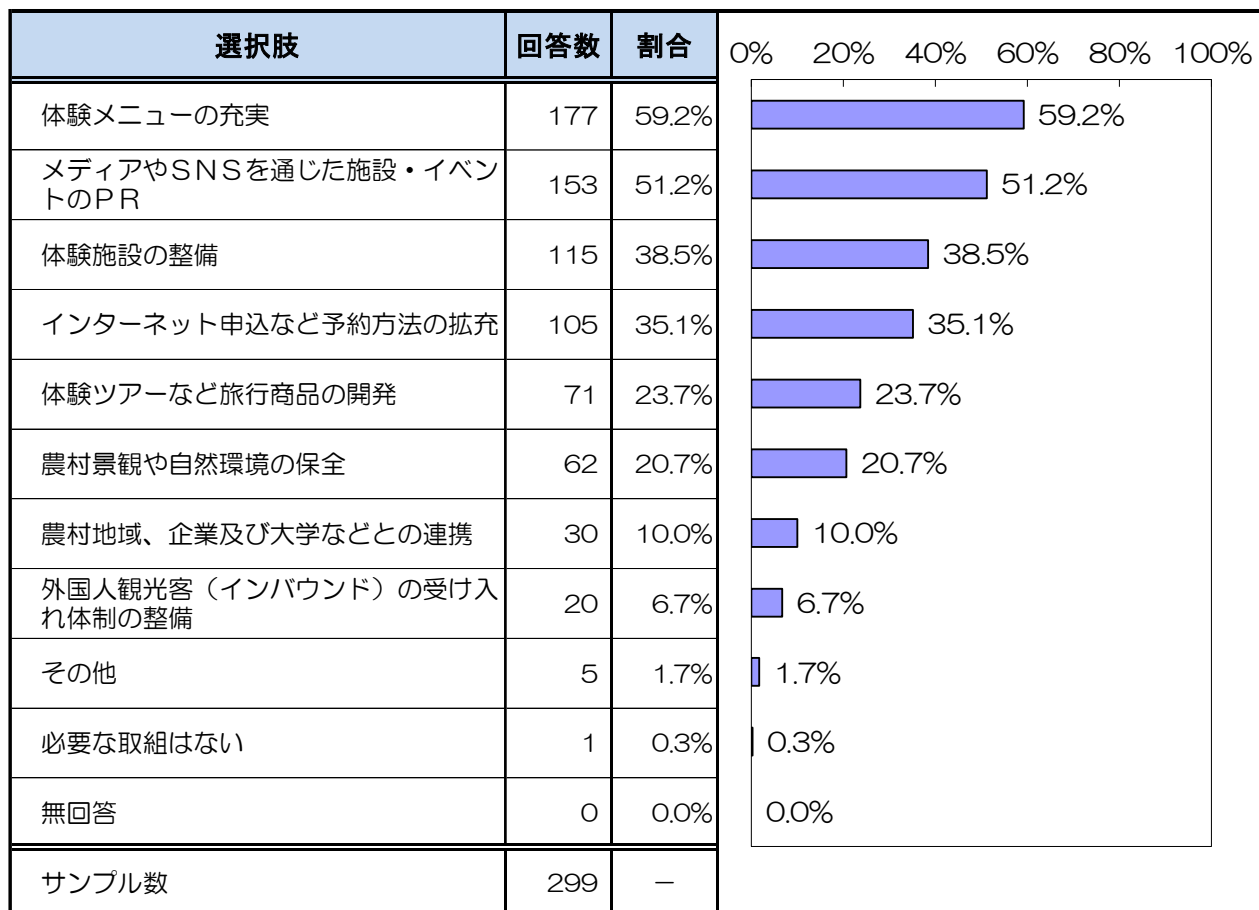
問 14 グリーン・ツーリズム施設には農産物直売所を設置していますが、あなたが農産物直売所で買い物をする場合、何が最も重要だと思いますか。(単数回答)

「地元産の新鮮な農産物の充実」が 51.2%と最も高く、次いで、「価格（安さ）」の 24.4%、「そこでしか購入できない農産加工品の充実」の 17.4%の順となっています。



問 15 今後、鹿児島市の「グリーン・ツーリズム」を推進するため、どのようなことに取り組む必要があると思いますか。（3つまで）

「体験メニューの充実」が 59.2%と最も高く、次いで、「メディアやSNSを通じた施設・イベントのPR」の 51.2%、「体験施設の整備」の 38.5%の順となっています。



◆その他の回答（一部抜粋・原文まま）

- ・グリーン・ツーリズムについての情報発信を増やす。
- ・暮らすように旅する。一ヶ所に中期・長期滞在出来るような宿泊施設を作ったらどうでしょうか。地元の野菜で自炊し近くの温泉巡りしたりとゆっくり過ごせるように。

問 16 本市のグリーン・ツーリズム及びグリーンファームについて、ご意見・ご提案等ございましたら、自由にご記入ください。

◆回答一覧（一部抜粋・原文まま）

回答内容	性別	年代	地域
グリーンファームには1度行ったことがあります。レストランではだいたいのご飯が美味しかったです。次は野菜収穫などの体験に行きたいです。	女	30歳代	谷山
色々な地域の物産館を目的に訪ねる事がよくあります。それぞれの地域の特色を楽しみにしています。	女	60歳代	中央
鹿児島は、自然や農業・水産・畜産などに恵まれています。子どもの頃の体験はその後の成長や考え方に良い影響を与え、特に小学校において体験する機会を設けると知育の良い経験になると思います。	女	60歳代	伊敷

Ⅲ 「個人住宅雨水貯留施設等設置助成事業」の効果的な周知・広報について

1. 調査の目的

本市では、平成9年度から、流域治水対策（流域全体で水害を軽減させる治水対策）の一環として、個人住宅に雨水の貯留施設や浸透施設を設置する市民に対して助成金を交付しています。

令和3年度末時点で、約14,900個（学校の25mプール約7個分）設置されておりますが、普及率は10%以下にとどまっております。

令和3年度は、コロナ禍による厳しい財政状況を踏まえ、休止としたところですが、当該事業は、市民自らが手軽にできる流域治水対策のひとつでもあること等を踏まえ、限られた予算の中で、より多くの市民に利用していただけるよう、令和4年度に助成額を3分の2から2分の1へ改正し、事業を再開しました。

気候変動による水災害リスクの増大に備えるため、より多くの方に本事業を知っていただき、利用していただくため、アンケートを実施しますので、ご協力をお願いいたします。

2. 調査結果を受けて担当課（河川港湾課）からのコメント

「個人住宅雨水貯留施設等設置助成事業」の効果的な周知・広報について、市民のみなさまの認知度や考えなどを伺うためにアンケートを実施したところ、多くのご回答やご意見をいただきました。誠にありがとうございます。

平成9年度から助成金を交付しておりますが、75.3%の方が、「個人住宅雨水貯留施設等設置助成事業」の「言葉も内容も知らなかった」と回答されていることや、自由意見でも同様の回答をいただいていることから、まずは、市民のみなさまに知っていただくことが重要であることが分かりました。

また、周知広報について、「本市ホームページにおける周知内容の充実」「イベント等でのパンフレット配布」「販売店や施工業者等への周知」を行ったらよいとの回答を多くいただきました。

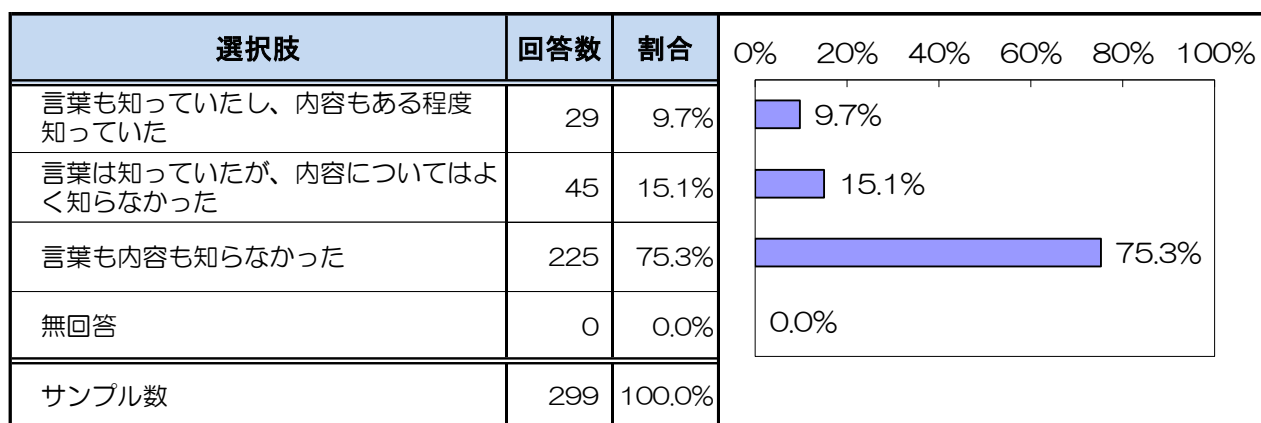
利用したことがある方からは、「庭木や花の水やり」や「掃除」に利用されているとの回答をいただき、事業の効果を確認したところです。

今回の調査結果を踏まえ、より多くの市民のみなさまに利用していただけるような情報発信に努め、利用促進を図ってまいります。

3. 調査結果

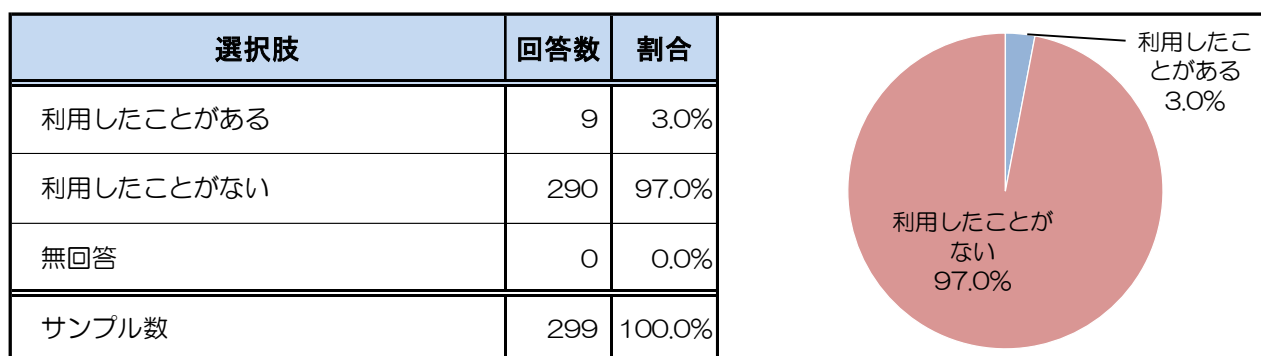
問 17 あなたは「個人住宅雨水貯留施設等設置助成事業」の言葉や内容について知っていましたか。(単数回答)

「言葉も知っていたし、内容もある程度知っていた」が 9.7%、「言葉は知っていたが、内容についてはよく知らなかった」が15.1%、「言葉も内容も知らなかった」が75.3%となっています。



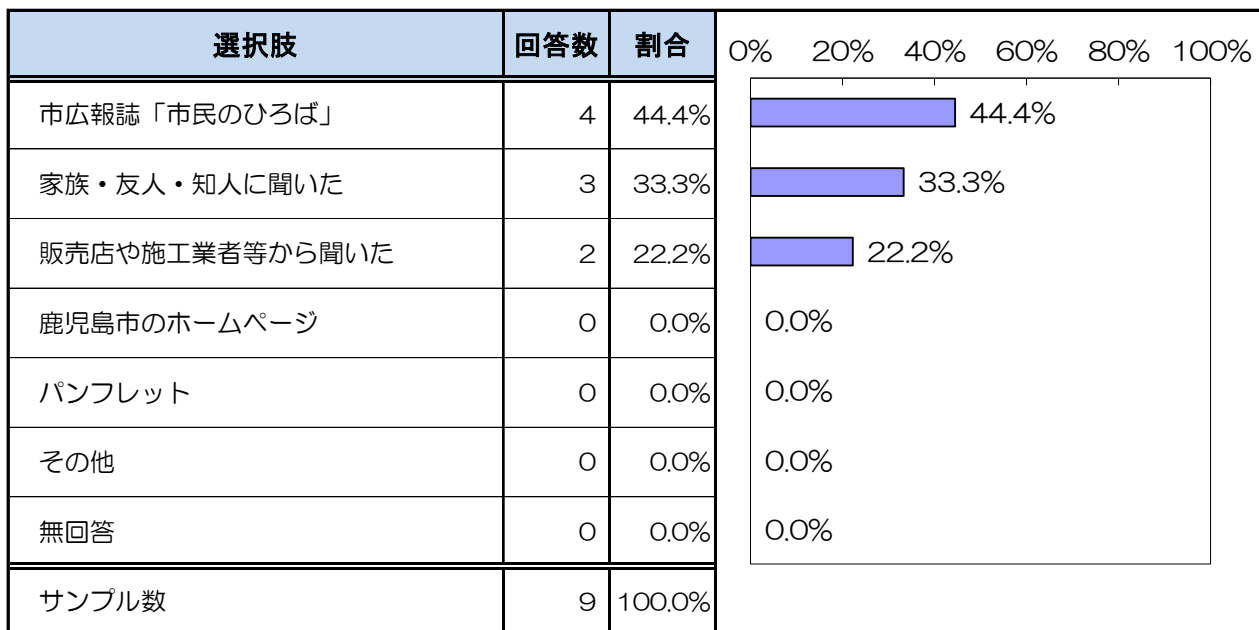
問 18 本助成事業を利用したことがありますか。(単数回答)

「利用したことがある」が 3.0%、「利用したことがない」が 97.0%となっています。



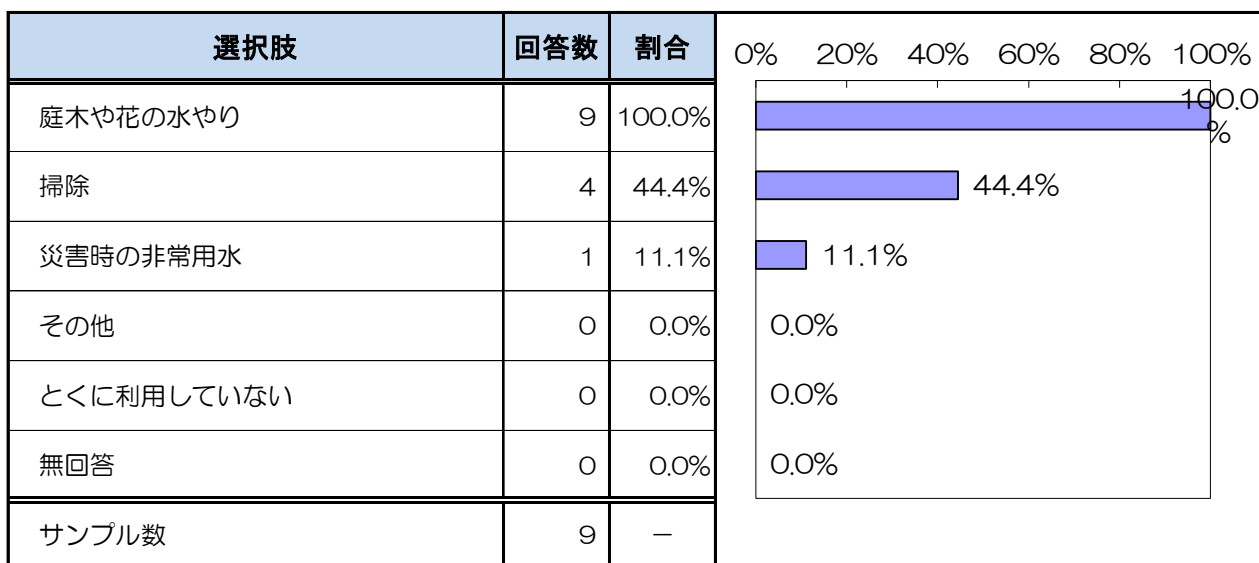
問 19 問18で「1. 利用したことがある」とお答えした方にお伺いします。
本助成事業の情報をどのように知りましたか。(単数回答)

「市広報誌「市民のひろば」」が 44.4%と最も高く、次いで、「家族・友人・知人に聞いた」の 33.3%、「販売店や施工業者等から聞いた」の 22.2%の順となっています。



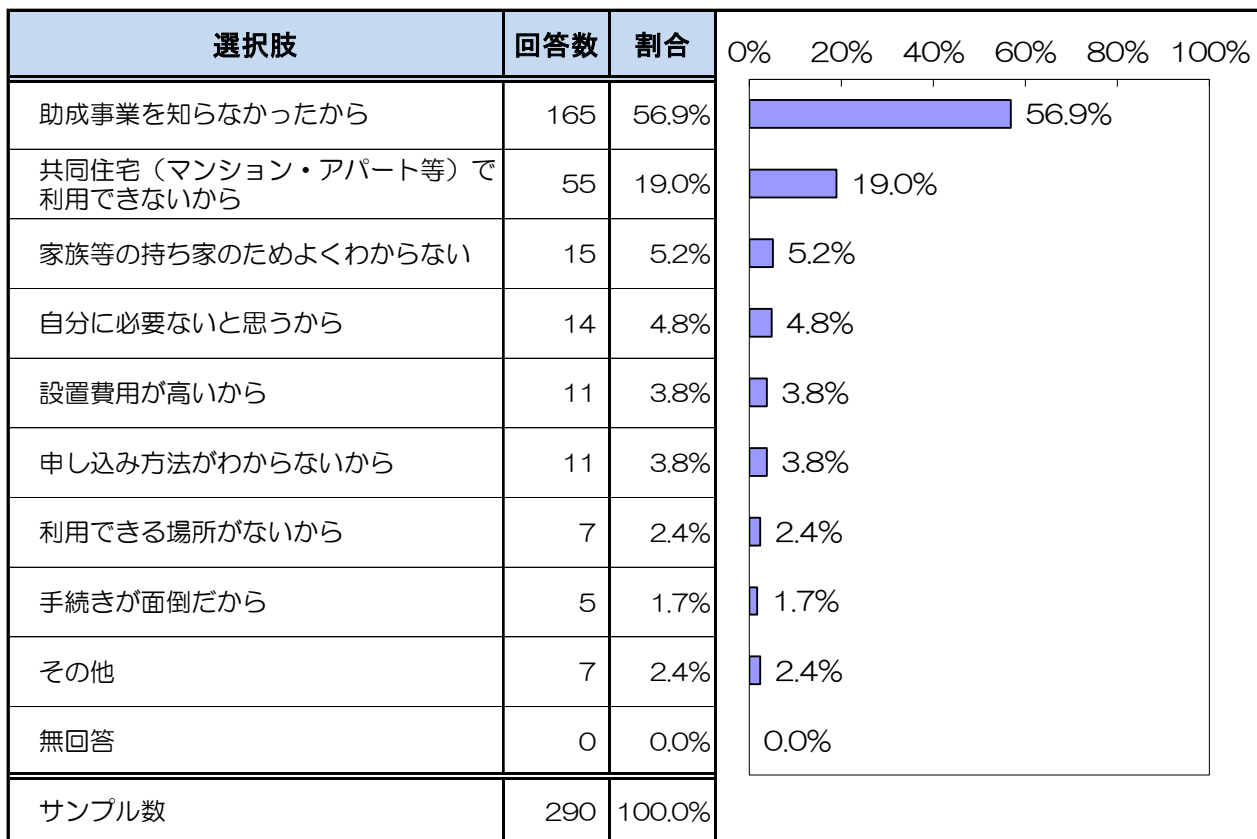
問 20 問18で「1. 利用したことがある」とお答えした方にお伺いします。
貯めた雨水をどのように利用されていますか。(複数回答)

「庭木や花の水やり」が 100.0%と最も高く、次いで、「掃除」の 44.4%、「災害時の非常用水」の 11.1%の順となっています。



問 21 問18で「2. 利用したことがない」とお答えした方にお伺いします。
 利用したことがない理由は何ですか。(単数回答)

「助成事業を知らなかったから」が56.9%と最も高く、次いで、「共同住宅（マンション・アパート等）で利用できないから」の19.0%、「家族等の持ち家のためよくわからない」の5.2%の順となっています。

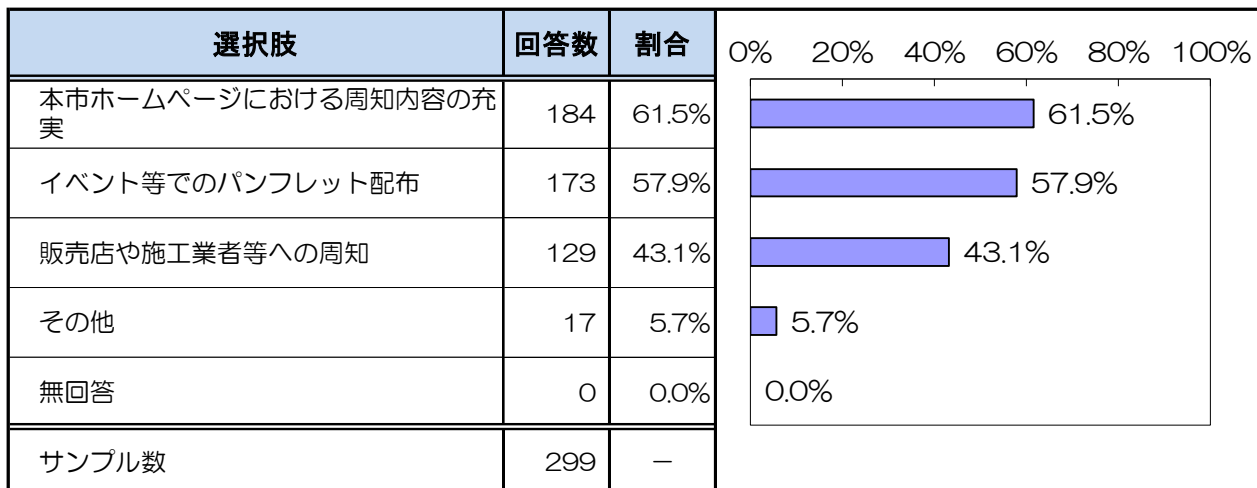


◆その他の回答（一部抜粋・原文まま）

- ・個人住宅を所持していない。
- ・費用が高額になりそう。貯水量が少なさそう。

問 22 本助成事業をより多くの方に知っていただくために、今後どのような周知広報を行ったらよいと思いますか。(複数回答)

「本市ホームページにおける周知内容の充実」が61.5%と最も高く、次いで、「イベント等でのパンフレット配布」の57.9%、「販売店や施工業者等への周知」の43.1%の順となっています。



◆その他の回答（一部抜粋・原文まま）

- ・TV などでの情報発信量の UP
- ・固定資産税通知の際にチラシなどを一緒に送ったり、窓口納付の方には案内する。

問 23 「個人住宅雨水貯留施設等設置助成事業」について、ご意見・ご提案等ございましたら、自由にご記入ください。

◆回答一覧（一部抜粋・原文まま）

回答内容	性別	年代	地域
この件は周知されていないと思う。新聞やメディアをもう少し使うべきではないか？と思う。	女	50 歳代	中央
雨水を利用するメリット、施工にかかる費用、業者等、わからないことだらけで、設置したいと思う人もなかなか行動できないのではないかと思います。	女	40 歳代	谷山
今回の質問で初めて知った助成事業でした。多くの人に周知するためにも、分かりやすく(小学生でもわかるくらい)どんな効果があるのか等説明があるといいなと思います。	女	30 歳代	中央